

【平成30年度 予算要求の経営方針】

企画調整局は、「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、市役所全体の企画・調整を行い、市内外の人に「行きたい、住みたい」と思ってもらえるような魅力的なまちづくりを推進します。

また、市制55周年を好機と捉え、関係部局と連携し、本市の認知度向上に向けた市内外への情報発信や、街のにぎわいを生む記念事業を展開し、地方創生の更なる飛躍につなげます。

さらに、真に必要な公共施設を将来にわたって安全に保有し続けることができるよう、「公共施設マネジメント」を推進します。

【平成30年度 予算要求の基本的な考え方】

新規：新規事業 拡充：拡充事業 継続：継続事業

1 地方創生の加速

要求額 3,099百万円 (対前年度 +1.0%)

社会動態のプラス転換に向け、奨学金返還支援による地元就職の促進、移住施策の推進、特区制度を活用した規制緩和による産業競争力強化、首都圏での情報発信や人的ネットワークの強化等に全力を挙げ取組みます。また、市民や団体等との協働によるSDGs達成に向けた取組みの推進など、地方創生の「成功モデル都市」の実現を図ります。

- 新規 (仮称) 地方創生SDGs未来都市推進事業
- 新規 首都圏応援ネットワーク拡大事業
- 新規 地元就職力アップ大学支援事業
- 拡充 戦略的広報推進事業 (市制55周年記念事業含む)
- 拡充 定住・移住促進事業 継続 北九州市未来人材支援事業

2 にぎわい拠点の魅力向上

要求額 1,096百万円 (対前年度 +275.7%)

小倉城の整備 (展示リニューアル・ライトアップ)、世界遺産の活用、下関市や近隣市町との広域連携による観光拠点の魅力向上に取組みます。

- 新規 北九州都市圏城市町大連トッププロモーション事業
- 拡充 小倉城周辺魅力向上事業 拡充 世界遺産推進・連携事業
- 拡充 関門地域魅力向上事業

3 公共施設マネジメントの推進

要求額 266百万円 (対前年度 +557.0%)

公の施設の使用料等の見直しに取組むとともに、市民への普及啓発やモデルプロジェクトなどの取組みを行い、公共施設マネジメントの推進を図ります。

- 拡充 公共施設マネジメント推進事業

4 国際交流・多文化共生の推進

要求額 369百万円 (対前年度 +2.7%)

社会動態のプラス転換に向け、外国人専門人材を中心とした外国人市民の受入を促進します。また、海外との都市間連携・交流を進めるとともに、多文化共生のまちづくりを推進します。

- 新規 地方創生に向けた留学生受入定着促進事業
- 継続 多文化共生による地域コミュニティ・エンパワメント創生事業

※ 公開時点での予算要求の内容であり、平成30年度に実施することが確定しているものではありません。